

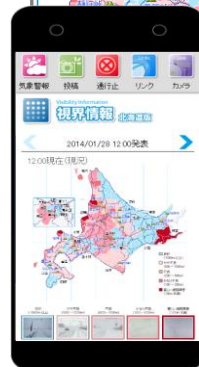
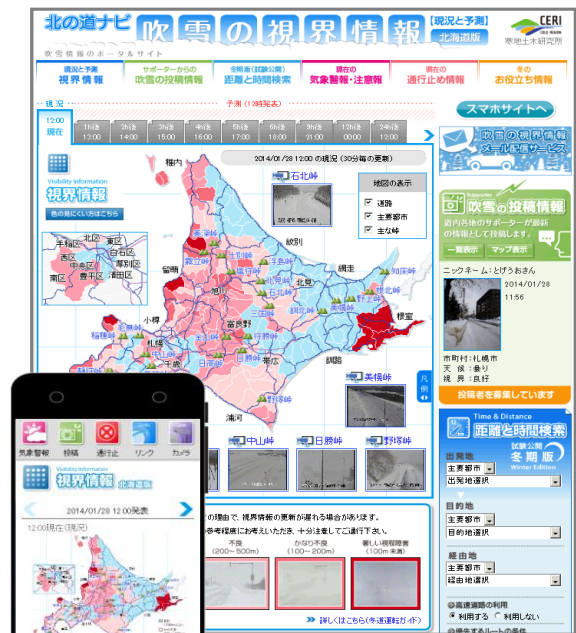
コラム 道路利用者を支援する吹雪の視界情報

積雪寒冷地の冬期道路では、吹雪による交通障害がしばしば発生するため、防雪柵等の吹雪対策施設の整備が行われています。近年、地球温暖化などの影響により、今まで経験したことのないような激しい暴風雪が発生し、吹雪対策施設による対応が困難な状況も見られます。

こうした状況では、吹雪に関する最新の情報を伝えることにより、吹雪時の道路利用者の行動判断を支援し、吹雪を回避することが極めて重要と考えられます。

寒地土木研究所雪氷チームでは、気象データから視程を推定する技術を開発し、インターネットサイト「吹雪の視界情報」で、北海道を対象に旧市町村単位で視界不良の現況と予測の情報提供を行うこととしました。平成25年度から、近年急速に普及が進むスマートフォン向けの情報提供サイトを公開し、移動中の道路利用者の利便性向上を図るとともに、視界不良に関するメール配信サービスを開始しました（図-1）。

平成25年3月の暴風雪災害から2冬期目を迎えて、市民向けの防災情報としてテレビ、ラジオ、新聞報道等で広く紹介（63件）されました。その結果、一日あたりの最大アクセス数は平成25年度冬期の約11,000件/日から、約34,000件/日と大幅に増加し、ますます多くの方々に活用されています（図-2）。



今後、網走西部で3時間以内に視程200m未満の視程障害が発生する恐れがあります。お出かけや運転にご注意ください。

北見市常呂
2時間後：視程100未満
3時間後：視程200未満

網走市
2時間後：視程100未満
3時間後：視程200未満

佐呂間町
2時間後：視程200未満

大空町
2時間後：視程200未満

↓↓↓ 詳しい情報はこちら↓↓↓
<http://www.northern-road.jp/navi/touge/sp/fubuki.htm>

図-1 吹雪の視界情報

(上から「インターネットサイト」、「スマートフォン版」、「メール配信サービス」)

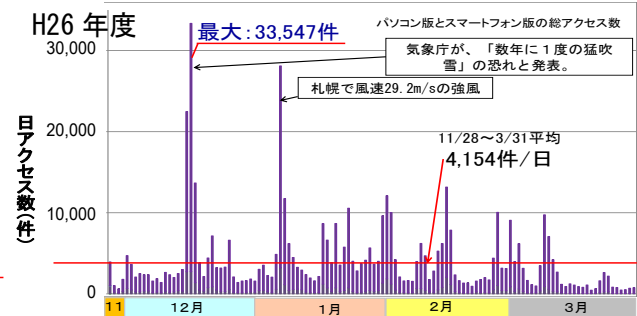
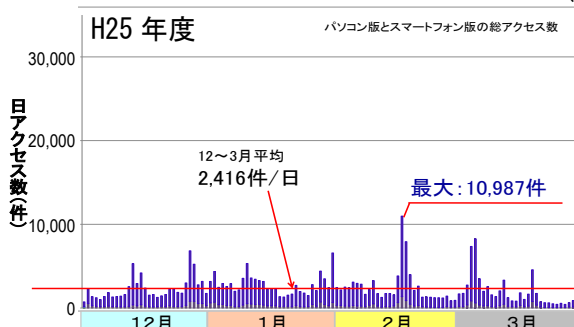


図-2 アクセス数の推移 (左: H25年度冬期、右: H26年度冬期)